



2024年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年2月13日

上場会社名 株式会社ラクス 上場取引所 東
コード番号 3923 URL <https://www.rakus.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中村 崇則
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 経営管理本部長 (氏名) 宮内 貴宏 TEL 03 (6683) 3857
四半期報告書提出予定日 2024年2月13日 配当支払開始予定日 -
四半期決算補足説明資料作成の有無：有
四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第3四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	27,841	40.5	3,571	221.8	3,610	222.0	2,474	264.4
2023年3月期第3四半期	19,818	33.6	1,110	△7.5	1,121	△7.5	679	△13.4

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 2,484百万円 (262.2%) 2023年3月期第3四半期 686百万円 (△13.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	13.66	-
2023年3月期第3四半期	3.75	-

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在していないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第3四半期	18,660	11,679	62.6
2023年3月期	14,073	9,548	67.8

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 11,679百万円 2023年3月期 9,548百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	-	0.00	-	1.95	1.95
2024年3月期	-	0.00	-	-	-
2024年3月期（予想）	-	-	-	2.20	2.20

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	38,295	39.8	5,390	225.4	5,424	223.4	4,001	213.9	22.08

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有
新規 1社 （社名）株式会社ラクスHRテック

（注）詳細は、添付資料8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動）」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期3Q	181,216,000株	2023年3月期	181,216,000株
② 期末自己株式数	2024年3月期3Q	1,667株	2023年3月期	1,610株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期3Q	181,214,363株	2023年3月期3Q	181,214,417株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通しなどの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績などは様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（決算補足説明資料及び決算説明会内容の入手方法）

当社は、2024年2月14日に機関投資家・アナリスト向けWeb会議を開催する予定です。このWeb会議で配布する説明資料については、TDnetで決算短信と同時に開示するとともに、当社ウェブサイトに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9
(重要な後発事象)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社が所属する情報通信サービス市場においては、働き方の見直しや人手不足などによる業務効率化への関心の高まりに伴い、企業の積極的なIT投資や業務のデジタル化への移行が継続いたしました。

このような経営環境の中、当社グループは、2021年3月期を基準として、2026年3月期までの5ヵ年で売上高をCAGR（年平均成長率）27%から30%、2026年3月期の親会社株主に帰属する当期純利益100億円以上、純資産200億円以上とする中期経営目標に取り組んでおります。この中でも特に重視している、売上高目標の上限であるCAGR30%の達成に向けて、成長投資を継続しながら、投資効率の向上による利益拡大も実現する方針です。

当第3四半期連結累計期間において、クラウド事業は、組織体制の見直しによる生産性の向上に取り組むとともに、主力サービスを中心に広告宣伝費の積極的な投下を継続いたしました。IT人材事業については、稼働エンジニア数の増加と新規取引社数拡大に注力するため、新規採用を抑制して営業活動の強化に努めました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高27,841百万円（前年同期比40.5%増）、営業利益3,571百万円（前年同期比221.8%増）、経常利益3,610百万円（前年同期比222.0%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益2,474百万円（前年同期比264.4%増）となりました。

セグメント別の経営成績は次のとおりであります。

①クラウド事業

クラウド事業は、組織体制の見直しによる営業活動・マーケティング活動の強化に取り組みました。また、インボイス制度をきっかけとした需要拡大に伴う新規導入社数の大幅増加により、当第3四半期連結会計期間においても顧客数が好調に推移しました。また、2023年7月に連結子会社化した株式会社ラクスHRテックの業績が、第2四半期連結会計期間より寄与しております。

その結果、売上高は23,414百万円（前年同期比45.3%増）、セグメント利益は3,234百万円（前年同期比320.9%増）となりました。

②IT人材事業

IT人材事業は、エンジニア数が前年同期比で増加したため増収となりました。利益面では、新規採用の抑制と営業活動の強化により、低下していた稼働率が回復基調に転じたものの、利益率が回復途上であることから減益となりました。

その結果、売上高は4,426百万円（前年同期比19.4%増）、セグメント利益は338百万円（前年同期比0.9%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は11,311百万円となり、前連結会計年度末に比べ832百万円増加いたしました。主な要因は、現金及び預金が632百万円減少したものの、売掛金が1,346百万円、前払費用（流動資産「その他」）が65百万円それぞれ増加したことによるものであります。固定資産は7,348百万円となり、前連結会計年度末に比べ3,753百万円増加いたしました。主な要因は、繰延税金資産が51百万円減少したものの、顧客関連資産が2,103百万円、のれんが1,315百万円、工具、器具及び備品が284百万円、建物及び構築物が64百万円それぞれ増加したことによるものであります。

この結果、総資産は18,660百万円となり、前連結会計年度末に比べ4,586百万円増加いたしました。

②負債

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は6,228百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,881百万円増加いたしました。主な要因は、未払費用が893百万円減少したものの、1年内返済予定の長期借入金が750百万円、未払金が671百万円、賞与引当金が531百万円、契約負債が289百万円、預り金（流動負債「その他」）が253百万円、未払消費税等が201百万円それぞれ増加したことによるものであります。固定負債は751百万円となり、前連結会計年度末に比べ573百万円増加いたしました。これは主に、長期借入金が371百万円、繰延税金負債が168百万円それぞれ増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は6,980百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,455百万円増加いたしました。

③純資産

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は11,679百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,131百万円増加いたしました。主な要因は、利益剰余金が剰余金の配当により353百万円減少したものの、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により2,474百万円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社は、中期経営目標として、2021年3月期を基準として2026年3月期までの5ヵ年で売上高をCAGR27%から30%、2026年3月期の親会社株主に帰属する当期純利益100億円以上、純資産200億円以上を掲げております。

引き続き、特に重視している売上高目標の上限であるCAGR30%の達成を目指して投資を継続しつつ、組織の生産性の向上や投資の効率化に取り組むことで、毎期の増益を実現しながら最終年度の利益目標の達成を実現する方針です。

2024年3月期は、引き続き旺盛なIT投資やデジタル化のニーズを捉え、高成長を実現するための積極的な投資を継続する一方、組織の生産性や展開施策の効果を向上させ、持続的な事業成長を実現できる組織強化に取り組みます。

その結果として、売上高38,295百万円（前年同期比39.8%増）、営業利益5,390百万円（前年同期比225.4%増）、経常利益5,424百万円（前年同期比223.4%増）、親会社株主に帰属する当期純利益4,001百万円（前年同期比213.9%増）を計画しております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,990	5,357
売掛金	4,086	5,432
その他	415	538
貸倒引当金	△13	△17
流動資産合計	10,479	11,311
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	255	319
工具、器具及び備品（純額）	836	1,120
有形固定資産合計	1,091	1,440
無形固定資産		
のれん	464	1,779
顧客関連資産	—	2,103
ソフトウェア	30	50
無形固定資産合計	494	3,933
投資その他の資産		
関係会社長期貸付金	32	29
差入保証金	1,053	1,044
繰延税金資産	930	878
その他	17	35
貸倒引当金	△25	△13
投資その他の資産合計	2,008	1,974
固定資産合計	3,594	7,348
資産合計	14,073	18,660

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	3	4
1年内返済予定の長期借入金	4	754
未払金	1,443	2,115
未払費用	1,119	226
未払法人税等	548	619
未払消費税等	543	745
契約負債	585	875
賞与引当金	—	531
その他	98	356
流動負債合計	4,347	6,228
固定負債		
長期借入金	32	404
長期未払費用	92	92
預り保証金	52	86
繰延税金負債	—	168
固定負債合計	178	751
負債合計	4,525	6,980
純資産の部		
株主資本		
資本金	378	378
資本剰余金	308	308
利益剰余金	8,848	10,970
自己株式	△0	△0
株主資本合計	9,534	11,655
その他の包括利益累計額		
繰延ヘッジ損益	△3	2
為替換算調整勘定	17	21
その他の包括利益累計額合計	13	23
純資産合計	9,548	11,679
負債純資産合計	14,073	18,660

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
売上高	19,818	27,841
売上原価	6,290	7,999
売上総利益	13,528	19,842
販売費及び一般管理費	12,418	16,270
営業利益	1,110	3,571
営業外収益		
受取利息	0	0
為替差益	21	19
受取補償金	0	0
助成金収入	4	2
関係会社貸倒引当金戻入額	—	16
その他	2	2
営業外収益合計	28	40
営業外費用		
支払利息	0	2
関係会社貸倒引当金繰入額	16	—
その他	0	0
営業外費用合計	16	2
経常利益	1,121	3,610
特別利益		
投資有価証券売却益	10	—
受取和解金	5	7
特別利益合計	15	7
特別損失		
固定資産除却損	0	8
関係会社株式評価損	52	—
特別損失合計	52	8
税金等調整前四半期純利益	1,084	3,609
法人税、住民税及び事業税	460	1,158
法人税等調整額	△55	△23
法人税等合計	405	1,134
四半期純利益	679	2,474
親会社株主に帰属する四半期純利益	679	2,474

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益	679	2,474
その他の包括利益		
繰延ヘッジ損益	△0	6
為替換算調整勘定	6	3
その他の包括利益合計	6	9
四半期包括利益	686	2,484
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	686	2,484

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

第2四半期連結会計期間において、株式会社ラクスHRテックを株式取得により完全子会社としたため、新たに連結の範囲に含めております。

なお、株式会社ラクスHRテックは当社の特定子会社に該当しております。

(追加情報)

(賞与引当金)

前連結会計年度においては、従業員賞与の確定額を未払費用として計上していましたが、当第3四半期連結累計期間は支給額が確定していないため、支給見込額を賞与引当金として計上しております。なお、前連結会計年度においては支給確定額893百万円を未払費用に含めて計上しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	クラウド事業	IT人材事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	16,110	3,708	19,818	—	19,818
セグメント間の内部売上高 又は振替高	0	24	25	△25	—
計	16,110	3,733	19,843	△25	19,818
セグメント利益	768	341	1,109	0	1,110

(注) 1. 報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

2. セグメント利益の調整額0百万円は、配賦不能営業費用であり、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

II 当第3四半期連結累計期間(自2023年4月1日至2023年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	クラウド事業	IT人材事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	23,414	4,426	27,841	—	27,841
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	6	6	△6	—
計	23,414	4,433	27,848	△6	27,841
セグメント利益	3,234	338	3,572	△1	3,571

(注) 1. 報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

2. セグメント利益の調整額△1百万円は、配賦不能営業費用であり、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(重要な後発事象)

(連結子会社の吸収合併)

当社は、2024年2月13日開催の取締役会において、2024年4月1日(予定)を効力発生日として、当社の特定子会社かつ完全子会社である株式会社ラクスHRテックを吸収合併することを決議いたしました。

1. 企業結合の概要

(1) 被結合企業の名称及び事業の内容

被結合企業の名称	株式会社ラクスHRテック
事業の内容	クラウド型ソフトウェアサービスの提供

(2) 企業結合日

2024年4月1日(予定)

(3) 企業結合の法的形式

当社を吸収合併存続会社とし、株式会社ラクスHRテックを吸収合併消滅会社とする吸収合併方式であります。

(4) 結合後企業の名称

株式会社ラクス

(5) 企業結合の目的

当社は、企業の業務効率化に貢献する複数のクラウドサービスをポートフォリオ管理することで、高い売上高成長と利益の創出を同時に実現しております。事業を進めていく中で、当社のクラウド型勤怠管理システム「楽楽勤怠」と株式会社ラクスHRテックの同事業を統合し、同社の製品力と当社の営業力を組み合わせることで、より速い市場シェアの拡大につながると判断し、同社を吸収合併することといたしました。

2. 実施する会計処理の概要

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 2019年1月16日)及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第10号 2019年1月16日)に基づき、共通支配下の取引として会計処理を行う予定であります。